



くまちゃんつうしん

H26年6月1日発行

6

06.01.2014



くまちゃん農園始めました！

そうだ農業をしよう！

あるご利用者様と職員の間で野菜の話をしていた時のことです。「そうだ農業をしよう！」という話になりました。

しかし、農業をするには場所がなく、知識もありません。まずは「自分達ができること」としてベランダや屋上の空きスペースに小さな農園を作り、そこで出来た作物を自分達で調理し食べるという事を目標にすることにしました。プランターは使わなくなった衣装ケースや廃材を利用し、土は枯葉の混ざった園庭の土を使用しました。作物は、保護者様より寄贈いただいた「おたふく豆」、つばさより分けていただいた「スナップえんどう」を育てることにしました。毎日水やりをしていると興味をもって参加していただけるご利用者様も増えてきました

が、正直うまく育つか不安でいっぱいでした。しかし寒い冬の大雪にも耐え、待望の春が来て無事に立派な豆を実らせる事が出来ました。自分が育てた豆を自分の手で収穫し、茹でて食べた味は今まで食べたことの無い程に格別なものでした。次なる目標は「町民文化祭で作物の販売をする！」です。



春の旅、秋の旅

5月12日(月)ご利用者様が待ちに待った全員外出の日がやってきました。例年は男性、女性と別々の場所へ出掛けていましたが、今年は「春の旅」と題し、男性女性共に全員でいよやかな郷へ出掛けようと計画しました。

ご利用者様は「料理楽しみ!」「カラオケはあるの?」「お土産を買おう」など、非常に楽しみにされていました。

旅のコンセプトは「みんなで温泉と料理を楽しもう!」とし、季節の料理を堪能し、カラオケで盛り上がった後はのんびり温泉に入ったり、お土産コーナーを回られた

りと皆様楽しまれていました。帰り道、「秋にはどこへ行こう?」と早くも「秋の旅」に向けた話題で持ち切りでした。



防災訓練に参加！

グループホームの利用者の皆様と災害体験訓練をしてきました。体験場所は和歌山市消防局防災学習センター。年1回災害体験をすることで日頃の心づもりを少しでもできるようにしています。こちらを利用し始めて今回で3年目。毎年利用しても毎回新鮮な気持ちで勉強をさせていただいています。

- どんな体験をしてきたか？といいますが、
- ①模型をつかって地震が起きたときに津波がくるスピード・時間を知る。
 - ②映像を見て台風が来た時の備えを知る（災害体験シアター）。
 - ③火事になったときに煙から逃げる練習をする（煙

避難体験）。

④模擬の消火器を使って映像に映るフライパンからでた炎を消す練習（初期消火体験）

⑤災害への備えとして防災グッズがどんなものがあるのか知る。

の5つをおこないました。

煙避難体験では、吸っても害がない煙の中で避難経路の表示を見ながら進みました。その時に「低い姿勢」「鼻と口元を身の回りのもので覆い煙を吸わない」ということを教えてもらい、それぞれが持っていたハンカチ、帽子、服の袖で鼻と口元を覆い出口まで進みました。その様子は体験場所内のカメラで外部からも見れるようになっており、皆様それぞれの動きをお互いに確認することができました。

初期消火では全員がフライパンからの炎を消すことに挑戦。消火器のホースをどのように炎にむけるかがポイントであることを教えてもらい、全員が無事に炎を消すことができました。一人では難しいので学習センターの方に手伝ってもらいながら勉強してきました。

災害は実際には起こってほしくありません。しかし、もしも・・・に備えるためにも日頃からの心と体、必要な物品の準備をしていくことを学んできました。



2014

6

予 定 表

1日(日) 南小学校運動会

4日(水) 色ワーク

6日(金) 後援会ゴルフ

7日(土) ダイアナVr

10日(火) 茶道クラブ

11日(水) 歌体操・イエローシート

12日(水) ハッピーブレイン

16日(月) 男性散髪

22日(日) 家族会

24日(火) ヨーガ

25日(水) シーツ交換

27日(金) 避難訓練

29日(日) 自治会

発行所：社会福祉法人 和光福祉会

発行人：平川 輝子 編集人：北村 友隆

TEL：072-453-5655

E-mail：press@kumacyan.org

FAX：072-452-9151

HP：http://www.kumacyan.org/press.php（カラーも見れます！）